

ミヤエホック

## タフ&コンパクト キンメダイ・アコウダイ釣りでも 余裕のパワー

PRO & AM COMMAND AC-5S



- サブモーター搭載のオートクラッチ機能&オートシャクリ機能
- 大物とのやりとりも余裕の釣力コントロール機能

PRO & AM COMMAND AT-5S



- 大物とのやりとりも余裕の釣力コントロール機能

**SPEC**  
 線巻量: 6号/1100m 8号/900m  
 ドラグ耐力: 20kg ~ 40kg  
 瞬間最大巻上力: 64kg  
 卷取り速度(無負荷): 150m / 分  
 DC.12V ONLY  
 価格(税込): AC-5S ¥113,400  
 : AT-5S ¥103,950

株式会社 **ミヤエ**  
<http://www.miymae.co.jp/>

▲ネーブルスをバックにジギングファイト。ルアーマンにはたまらないシーンだろう

▶当日最大となった4.8キロの本カンパチもルアーにヒット

▲4キロのヒレナガ。ルアーは140グラムのロングジグ

◀イワシカラーのロングジグに反応がよかったです

▶18号船でアジエサにヒットした8.6キロのイヤゴハタ

▼当日唯一エサ釣りで上がったカンパチ

▲エサ釣りで上がった4キロのマダイ。乗込みを思わせる見事な体形をしていた

▲ネーブルス。カンパチ、シマアジの本命ポイント。

▶錢洲到着後、全員が塩、米、お神酒を海にまき、安全を祈願する

●ルアーテキャッチしたヒレナガカンパチ。解禁日はルアーハイヒット率が高かった

### 西伊豆土肥港出船～錢洲 カンパチ、マダイ、シマアジで幕開け 遠征釣りの メッカでISU撮影本誌編集部 錢洲解禁！

今年の錢洲解禁は4月1日。解禁日のとび島丸には20人の遠征釣りファンが集まり、11号船、18号船の2隻出しで錢洲に向かった。取材で乗船した11号船には、トモ側にエサ釣り7人、ミヨシ側にルアーマン5人という布陣。快晴、ナギと好天気に恵まれたネプルス周り30~50メートルダチでスタート。初ヒットはルアーチームで3キロのヒレナガカンパチをキャッチ。イワシカラーのジグに反応がよく、本カンパチ交じりでヒットが続く。一方エサ釣りチームは、持ち込んだ生きアジを泳がせてはみたものの、底潮が暗いためか結果が出ず、18号船で上がった8.6キロのハタのみ。逆にオキアミエサで3キロ級カンパチがヒットする。このほかマダイ、シマアジ、イサキ、ウメイロと錢洲らしい顔ぶれの魚がエサ釣りで上がった。

これから数かずのドラマが展開される錢洲シーズンが幕を開けた。

・写真は西伊豆恋入岬のとび島丸にて(詳細は66ページから)のレポート参考照

●シマアジは小型が多いものの、数釣りが楽しめる

# 錢洲解禁特別レポート

本誌編集部・斎藤貴伸 *Takanobu Saitoh*



4月1日(木)遠近釣り場 錦洲が解禁した。  
カンパチ、シマアジをはじめとした大型魚、  
高級魚が狙えるところには、泳がせ釣り、五目釣り、  
ルアーと楽しませる釣法も多彩。それだけに錦洲を  
満喫しようと思えば、しっかりと準備が  
不可欠になる。複数のターゲットを効率よく  
狙うために、今回の解禁釣行では  
ワンツックルというテーマで挑戦してみた。

# ワンタックルで挑戦した 錢洲解禁釣行。 準備は万全、結果は……

この岩礁帯だけ海面から飛び出している。非常に面白い地形だ

格好のエサ場であり産卵場となつてゐるが、魚たちにとつては、いえるが、シーバスやダルマを中心とし、それらを主な餌とする魚たちにとっては、必ず立ち寄るオアシスのようなものかもしれない。

とりわけ回遊魚にとつては、必ず立ち寄るオアシスのようなシーバスを通して様ざまな魚が釣れるのは、銭洲を目指して季節ごと入れ替わり立ち替わり魚が集まるからだろう。

角筈日なしし角筈直後は、事前の情報がないためそれができない。だから面白いという面は確かにあるが、どんなタックル、仕掛けを準備したらいいかは毎年迷うものだ。

過去の解禁日の模様を振り返ることで数少ない判断材料になるが、これも決まつたパターンがあるわけではない。これまで10数年解禁日、あるいは解禁直後に銭洲に釣行しているが、釣れる魚種、その数、型は毎年のように違っている。

小型のカンパチが入れ食いの年、シマアジの模様がいい年、マダイが乗っ込んでいる年と様ざまだった。

ないのが正直なところだが、曖昧な予想を基にどう攻めるかを考えることはできる。

カンパチなら1~2キロクラスの数釣りいか3~4キロメインのいずれか。釣り方は前者ならばカツタクリや身エサの誘い釣りが主体、後者ならばアジなど生きエサを使った泳がせ釣りが有利になる。

シマアジも模様がよければ、極端に短い(1メートル)仕掛けを6メートル前後のシマアジ仕掛けや五目仕掛けに組み合わせる。昨年末の禁漁間際にはシマアジの模様がよかつたので、それが続いている可能性は十分にある。

マダイの乗っ込みが始まつていれば、ハリス10メートルの仕掛けを用意したい。

鐵洲は伊豆半島石廊崎のほぼ真南75キロメートルに位置する最も近い島は神津島だが、それでも36キロメートルも離れている。

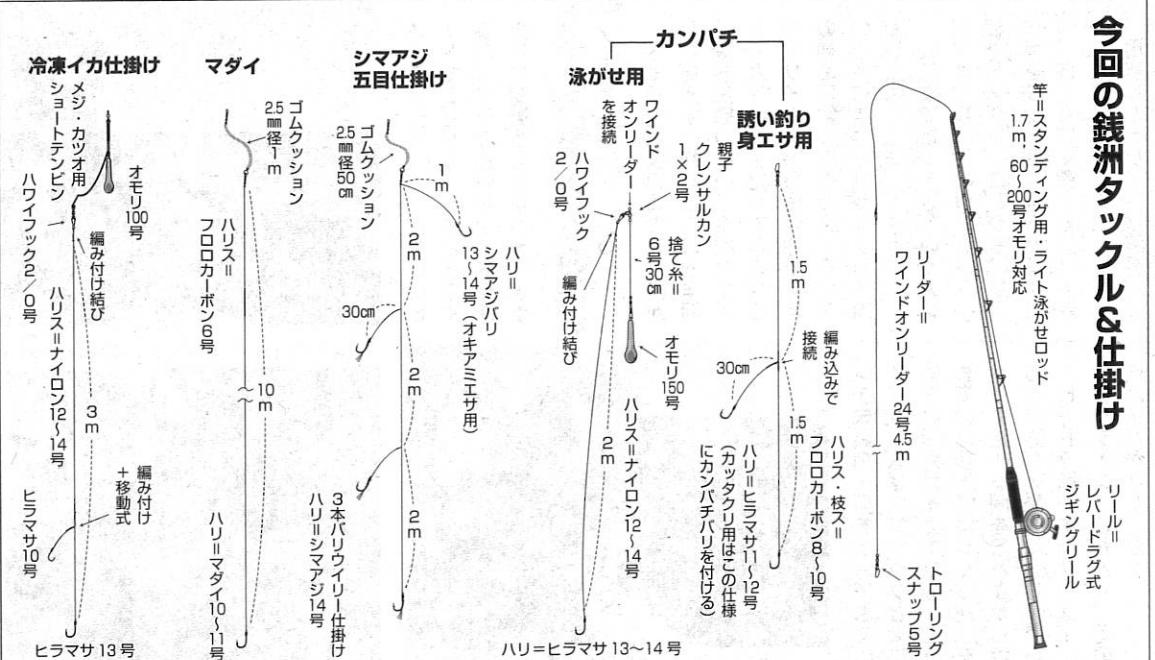
した岩礁周りだけでなく、それを取り巻く水深50～60メートルラインまで含めると、釣れる魚種は実に多い。

毎年解禁当初、カンパチはルアーへの反応がいいこと



準備編

模様が読めない解禁直後  
仕掛けは多岐にわたる



## かつて経験のないベタナギの解禁日

かくして2011シーズンの  
銭洲が幕を開けた。水温は16度  
台とやや低い。

それでもこれほどのナギ  
に恵まれた解禁日は記憶にない。  
これで魚が思うように釣れれば  
最高なのだ。

ミヨシ側の5人のルアーマン  
は、東海大学釣魚部の部員とO  
Bの方々。そのリーダー格と見  
えた野平君が、船中1本目のヒ  
レナガカンパチをヒットさせた。  
3キロクラスのままの型だ  
った。ヒットルアーはイワシ力  
ラのロングジグ140グラム。

2本目も野平君でグソと型が  
出船したのは1時半ころだった。  
伊豆土肥港には、とび島丸から  
銭洲へ解禁釣行するファンが20  
名集合していた。11号と18号の  
2船に分乗して、銭洲を目指し  
スリ寝ていたところ、  
「ハイ、今年も一番乗り。ゆつ  
くり支度をしてください」とい  
う鈴木忠文船長のアナウンスで  
に飛び込んできた。いつもの銭  
洲の風景だが、解禁日はことさ  
ら気分が高揚する。

3キロ前後とまずまずだった  
数は多くなかったものの、ルアーにヒットしたカンパチが3  
枚前後とまずまずだった

キャビンから出ると、ベタナ  
ギの海に浮かぶネープルスが目  
に飛び込んできた。いつもの銭  
洲の風景だが、解禁日はことさ  
ら気分が高揚する。

「エサ釣りはカンパチかシマア  
ジ、泳がせは底から、ルアーは  
キャストして底からシャクって。  
7時5分前、船長は戦闘モードに突入。次つぎと指示が送られ  
てくる。「エサ釣りはカンパチかシマア  
ジ、泳がせは底から、ルアーは  
キャストして底からシャクって。  
2札、二拍、一札。安全と大漁  
を祈願した。

7時までに全員で解禁の儀式  
というか、お参りをする。塩、  
米、お神酒を一人ずつ海に捧げ、  
二札、二拍、一札。安全と大漁  
をやつて、水深35メートル」



3本目は今期から助手として乗  
船している飯田健斗君、16歳!!  
これはスマだつたが、ルアーの  
チームの連続ヒットが続く。  
ここまで開始から約30分。解  
禁日としては過去にもあった。バ  
ターンで、この辺りからエサ釣  
りチームにもカンパチがヒット  
することが多い。

8時前、シマアジを狙つてい  
た仲乗りの國島満君に3.2キロの  
ヒレナガがヒット。なんとこれ  
はオキアミエサに食つてきた。  
アジの泳がせにも、身エサやオ  
キアミエサの五目釣りにもヒッ  
トがない。

8時前、シマアジを狙つてい  
た仲乗りの國島満君に3.2キロの  
ヒレナガがヒット。なんとこれ  
はオキアミエサに食つてきた。  
アジの泳がせにも、身エサやオ  
キアミエサの五目釣りにもヒッ  
トがない。

さて、左舷脛の間の釣り座か  
ら竿を出す。初めはこの5年間  
で最も実績の高い、冷凍ヤリイ  
カでカンパチを狙つてみる。こ  
のヤリイカは南房白浜沖で3月  
の初めに釣つたものを、その日  
のうちにきつちりラップして冷  
凍した物。

ここまでヒットしていたカン  
パチは、ルアーのロングジグの  
ヒット率が高いことから、生き  
エサを狙い範囲で泳がせるより  
も、底から広く探つた釣り方が  
有利と思える。

用意したヤリイカは脛長20セ  
ンチ未満の小型を選んであるの  
で、サイズはロングジグと大差  
はない。ただイカエサではこれ  
までの経験上、ゆっくり誘いを  
かけて止める間を入れながら探  
る釣り方が効果的になる。速い  
スピードで動かすジグとはかな  
りアクションに差があり、その  
点が気がかりだった。



ベタナギの銭洲で氣持ちはさそうにファイトする野平君



6メートルのハリスでヒットさせた4キロのマダイ



銭洲のカンパチはルアーマンにとって魅力的なターゲット



東海大学釣魚部の実力をいかんなく発揮した  
一日だった

オモリを下げる時、竿先がまるでヘラウキのように垂直に立ち、かすかなアタリを縦方向の大きな動きに増幅します。

従来の釣りでは感じられない新たなアタリを目で感じられる。ME-KANDがあなたの釣りに新たな可能性を広げます。

ME-KAND  
マルカ150M



\* 写真は30号負荷の場合  
\* ME-KANDシリーズラインアップ  
は、弊社HPをご覧下さい。

**ME-KAND**

目感度でアタリをキャッチ!!  
TICAのNEWコンセプトロッド

方ができるはずなのだが、これ  
もだめ。

だんだんカンパチ狙いの打つ  
手が底をついてくる。

一方、右舷で私と同じくワン  
タックルで釣つていた沼上さん  
は、4キロと2キロのマダイを  
キャッチ。さすがに狙いどころ  
を外していない。

この日は、ほとんどネープル  
ス近くのポイントを狙つたが、  
カンパチはルアーチームが7本ヒツ  
トさせ、最大は納竿直前に健斗君が  
釣つた4.8キロ。

エサ釣りではカンパチは満君の1  
本のみ。マダイが2枚、イサキ、ウ  
メイロに加え、小型のシマアジが多

数。他船では12キロのオオカミ  
が上がっているので、シマアジ、  
マダイを本命視してもいいかも  
れない。

帰港後、18号船ではアジエサ  
で加藤さんが8.6キロのイヤゴハ  
タを釣り上げたことを知る。

これほどエサ釣りが苦戦した  
解禁は記憶にないが、忠文船長  
によれば、反応はバリバリなので、  
潮加減では必ず食つてくる  
という。

とび島丸特有の早い潮回りに  
合わせて、2度3度と投入を繰  
り返すが、アタリはない。それ  
どころか、小魚に狙われやすい  
足さえ残っている。底の魚の反  
応が悪いようだ。

作戦を変更し、カツタクリ仕  
掛けをショートテンピングに付け、  
底からスピードを付けてシャク  
つてみると。コマセシマクリの動  
作をスピードアップさせたよう

な感じだ。

1.7メートルの竿なのでこんな  
操作はやりやすい。タックルに  
関しては狙いどおりだったが、  
しかしこれでもアタリはない。  
次なる手は身エサの誘い釣り。  
エサは木更津沖で釣つたアナゴ  
と鉄子沖のサバ。ヒラヒラと動  
くアナゴは15センチ長に、光り  
具合に期待したいサバは10セン  
チ長だ。ルアーに最も近い攻め

方ができるはずなのだが、これ  
もだめ。

だんだんカンパチ狙いの打つ  
手が底をついてくる。

一方、右舷で私と同じくワン  
タックルで釣つていた沼上さん  
は、4キロと2キロのマダイを  
キャッチ。さすがに狙いどころ  
を外していない。

この日は、ほとんどネープル  
ス近くのポイントを狙つたが、  
カンパチはルアーチームが7本ヒツ  
トさせ、最大は納竿直前に健斗君が  
釣つた4.8キロ。

エサ釣りではカンパチは満君の1  
本のみ。マダイが2枚、イサキ、ウ  
メイロに加え、小型のシマアジが多

数。他船では12キロのオオカミ  
が上がっているので、シマアジ、  
マダイを本命視してもいいかも  
れない。

帰港後、18号船ではアジエサ  
で加藤さんが8.6キロのイヤゴハ  
タを釣り上げたことを知る。

これほどエサ釣りが苦戦した  
解禁は記憶にないが、忠文船長  
によれば、反応はバリバリなので、  
潮加減では必ず食つてくる  
という。

ワントックル作戦はある程度  
いけるとめどが立つたし、これ  
からの長いシーズン、お楽しみ  
は次の機会に取つておこう。



**TICA**

TICA JAPAN 株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町  
1-17-7 ナンヤビル4F  
TEL. 03-5847-4095 FAX. 03-5847-4096  
http://www.tica-jp.com/